

SMFL行動規範

SMFL Code of Conduct

2026.10.01

CONTENTS

トップメッセージ	P.3
「SMFL Way」と「SMFL行動規範」の関係	P.4-5
「Do the Right Thing」と4つの柱	P.6
「Do the Right Thing」～すべての判断と行動のための基本原則～	P.7
「Do the Right Thing」を日々実践するための4つの柱	
(1) Take Ownership	P.8
(2) Follow the Law and Social Norms	P.9-10
(3) Speak up, Listen up, Follow up	P.11
(4) Value Differences, Create Positive Social Impact	P.12

トップメッセージ

SMFL役職員の皆さんへ

私たちは、「SMFL Way」の実現に向けて、国内外で事業を拡大し、さまざまなステークホルダーとの関わりを深めながら成長を続けています。

また、グローバル化やデジタル化の進展により、当社を取り巻く環境は急速に変化しています。そのなかでは、法令やルールだけでは対応しきれない課題に直面することもあります。このような環境においては、法令やルールの遵守を基本としながらも、自ら判断し行動することが重要となります。

このような考えのもと、私たちは今般、「SMFL 行動規範」を制定し、「SMFL Way」を日々の判断と行動につなげるための共通の指針としました。この行動規範の中核には、「Do the Right Thing」を基本原則として据えています。

日々の業務の中で、常に「Do the Right Thing」に照らして考え、何が正しい行動なのかを自らに問い続けてください。そのうえで、懸念を感じたり、判断に迷ったときには、一人で抱え込まず、声を上げてください。私が声を上げてくれた皆さんを守ります。

一人ひとりの公正かつ誠実な行動の積み重ねが、私たちへの信頼を築き、持続的な成長を支えます。グローバル・グループベースでこの行動規範を浸透・定着させるため、私を含む経営陣も率先して取り組みます。

「SMFL Way」を実現し、社会から信頼される企業をともに目指していきましょう。

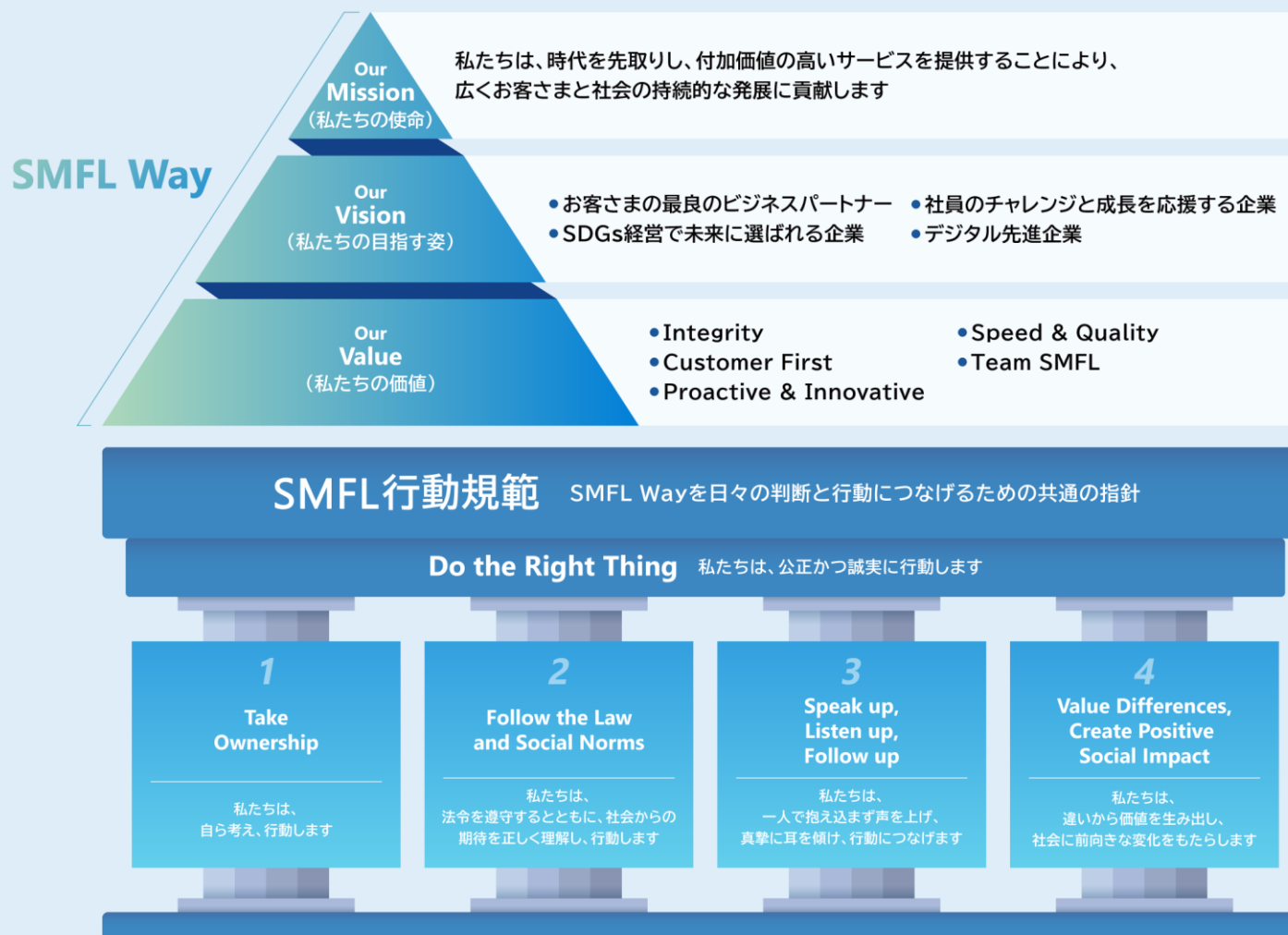
2026年10月1日
代表取締役社長

今枝哲郎



「SMFL Way」と「SMFL行動規範」の関係(1)

「SMFL Way」を日々の判断と行動につなげるための共通の指針として、新たに「SMFL行動規範」を制定しました。



「SMFL Way」と「SMFL行動規範」の関係(2)

SMFL Way

三井住友ファイナンス&リース株式会社(「SMFL」)では、企業活動の基盤となる理念体系として「SMFL Way」を定めています。「SMFL Way」は、当社のあらゆる事業活動の拠り所であり、Our Mission、Our Vision、Our Valueから構成されています。

Our ValueではFive Valuesを定めており、**Integrity**を最上位の価値として位置付けています。

SMFL行動規範

「SMFL行動規範」(「行動規範」)は、「SMFL Way」を日々の判断と行動につなげるための共通の指針であり、判断に迷ったときの拠り所でもあります。「SMFL Way」が私たちの大切にしている価値観を示し、「行動規範」はその価値観を日々の具体的な判断や行動へとつなげる役割を担っています。

Do the Right Thing と4つの柱

「行動規範」の中核となるのが、「**Do the Right Thing**」です。これは、**Integrity**を日々の判断と行動につなげるための基本原則であり、土台となるものです。

また、「Do the Right Thing」を日々実践するための指針として定めたのが、4つの柱です。私たちは、「Do the Right Thing」をすべての判断と行動のための基本原則とし、4つの柱に基づいて行動することで、「SMFL Way」の実現につなげていきます。

「Do the Right Thing」と4つの柱

日々の判断や行動に迷ったときは、「Do the Right Thing」に照らして考え、公正かつ誠実に行動します。
また、「Do the Right Thing」を日々実践するための支えとなるのが、4つの柱です。

すべての判断と行動のための基本原則 Do the Right Thing 私たちは、公正かつ誠実に行動します

Do the Right Thingを日々実践するための4つの柱

1

**Take
Ownership**

私たちは、
自ら考え、行動します

2

**Follow the Law
and Social Norms**

私たちは、
法令を遵守するとともに、社会からの
期待を正しく理解し、行動します

3

**Speak up,
Listen up,
Follow up**

私たちは、
一人で抱え込まず声を上げ、
真摯に耳を傾け、行動につなげます

4

**Value Differences,
Create Positive
Social Impact**

私たちは、
違いから価値を生み出し、
社会に前向きな変化をもたらします

「Do the Right Thing」 ～すべての判断と行動のための基本原則～

Do the Right Thing

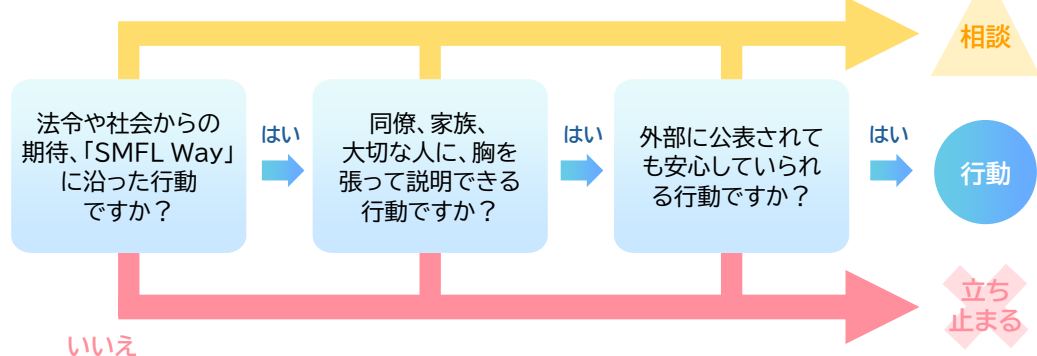
私たちは、公正かつ誠実に
行動します

- 自ら「正しい行動とは何か」を考え、公正かつ誠実に行動します。
- 判断や行動に迷ったときは、以下の質問を自分に投げかけます。
 - ① 法令や社会からの期待、「SMFL Way」に沿った行動ですか？
 - ② 同僚、家族、大切な人に、胸を張って説明できる行動ですか？
 - ③ 外部に公表されても安心していただける行動ですか？
- ひとつでも「NO」があれば、行動する前に立ち止まります。
自分の行動が正しいか確信が持てないときには、以下の方法で相談します。
 - ◆ 上司や同僚、コンプライアンス部門等への相談
 - ◆ 内部通報制度※の活用 ※内部通報制度についてはP.11をご参照ください



正しい行動のためのフローチャート

迷いがある



「Do the Right Thing」を日々実践するための4つの柱(1)

1

Take Ownership

私たちは、
自ら考え、行動します

- 当事者として、他人任せにすることなく、主体的に行動します。
- 周囲を積極的に巻き込みながら協働し、多様な知見を活かして課題の解決に取り組みます。
- 自らが置かれている状況を正しく理解し、適切な判断と行動を通じて、お客さまと社会の持続的な発展に貢献します。
- 判断や行動にあたっては、お客さま、同僚、社会その他のステークホルダーに対して説明責任を果たします。

適切な判断を行うために～リスク管理の重要性～

- ◆ 自らの業務に関連するリスクの特性や影響を適切に把握します。
- ◆ 許容するリスクと回避するリスクを見極め、適切なコントロールを行います。



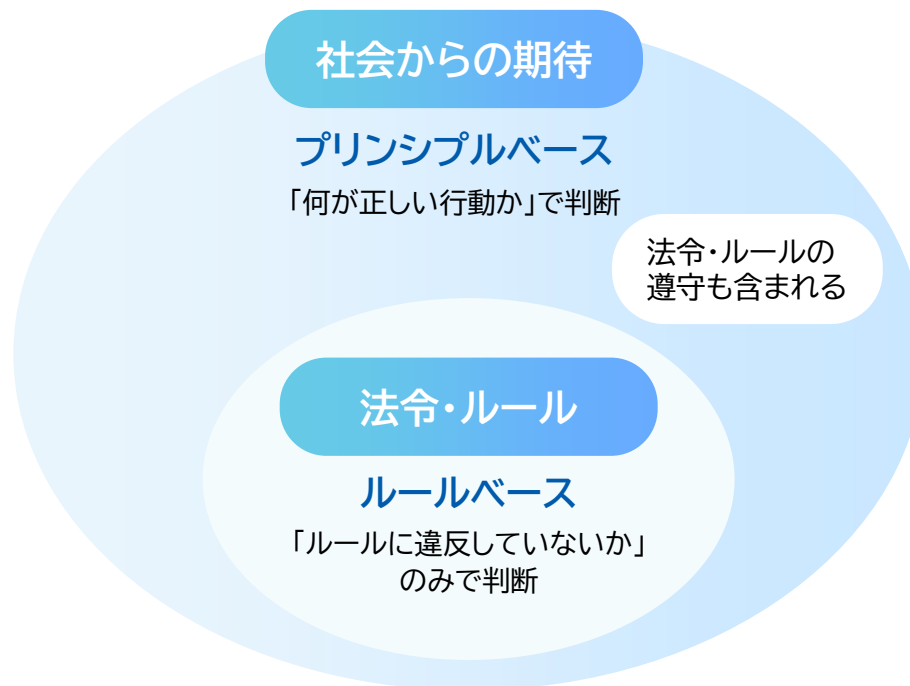
「Do the Right Thing」を日々実践するための4つの柱(2)

2

Follow the Law and Social Norms

私たちは、
法令を遵守するとともに、
社会からの期待を
正しく理解し、行動します

- 法令やルールを遵守するだけでなく、その趣旨や背景にある本質を理解し、社会からの期待に応える行動を実践します。
- 法令やルールはあらゆる状況を網羅するものではないため、明文化されたルールがないときには、「何が正しい行動か」を自ら考え、責任をもって判断します。



特に社会からの信頼を築くべき領域

情報の適切な管理

- お客さまの情報は信頼に基づいてお預かりするものであり、お客さまの大切な財産であることを常に意識します。
- お客さまの情報は、業務上の必要がある場合に限り、同意を得た範囲内で利用および提供を行います。また、漏えい、紛失、不適切な使用を防止するよう、厳格に管理します。
- インサイダー取引防止のため、法人関係情報は厳格に取り扱います。また、自己や第三者が不当な利益を得る行為には関与しません。

▶プライバシーポリシー
は[こちら](#)



▶お客さまの個人情報の
取り扱いについては[こちら](#)



お客さま本位の業務運営

- お客さまの真のニーズと最善の利益とは何かを自ら考え、それに適う商品やサービスを提供します。また、お客さまにとって必ずしも最善の利益につながらないと考える場合には、その旨を明確に伝えます。

▶お客さま本位の業務運営方針は[こちら](#)



金融犯罪への対応

- マネー・ローンダリング、テロ資金供与、拡散金融を防止します。また、経済制裁に関する法令やルールを遵守します。
- 反社会的勢力とは一切の関係を持ちません。

会社資産の保護と適切な利用

- 当社の有形資産・無形資産を適切に保護します。
- 当社の資産は正当な事業目的のみに活用し、不正な行為には利用しません。

公正な事業活動

- 業務の公正さを損なう接待、被接待、贈答を行いません。
- 贈収賄行為および汚職・腐敗行為には関与しません。
- 当社における権限や役割を利用して、自己または第三者の個人的な利益を図るような行為をしません。
- 独占禁止法や各国の競争法を遵守します。

正確な記録と適切な情報開示

- 業務上の記録は事実に基づいて正確に行い、適正に管理します。
- 財務情報、経営戦略などの非財務情報の適時・適切な開示を促進します。情報の隠ぺいは行いません。

「Do the Right Thing」を日々実践するための4つの柱(3)

3

Speak up, Listen up, Follow up

私たちは、
一人で抱え込まず声を上げ、
真摯に耳を傾け、
行動につなげます



- より良い判断とより良い組織づくりのために、声を上げます。
- 判断に迷う場合や、どのように対応すべきか分からない場合は、一人で抱え込まず、上司や同僚、コンプライアンス部門、人事部門、各統括部等に相談します。
また、内部通報制度※を活用することもできます。
- 「Bad News First/Fast」：悪い情報ほど迅速に報告、共有します。
- 立場や役職を問わず、相談や報告に真摯に耳を傾けます。そして、誰もが安心して声を上げることのできる環境づくりに貢献します。
- 問題の解決に向けて、必要に応じて周囲とも連携しながら、適切な対応や改善につなげます。

▶ ※内部通報窓口
は[こちら](#)



- ◆ 通報者の情報および通報内容の秘密は厳守されます。
匿名での通報も可能です。
- ◆ 誠実に相談・報告・通報した人、調査に協力した人が不利益な取り扱いを受けることはありません。
安心して活用してください。
- ◆ 通報や調査への協力を妨げるような行為をした役職員は、懲戒処分の対象となります。

「Do the Right Thing」を日々実践するための4つの柱(4)

4

Value Differences, Create Positive Social Impact

私たちは、
違いから価値を生み出し、
社会に前向きな変化を
もたらします



- 一人ひとりを尊重します。
 - ◆ すべての人の人権を尊重し、その尊厳を守ります。
 - ◆ 差別、嫌がらせ、ハラスメントを認めず、互いに安心して力を発揮できる環境をつくります。
- 違いを価値につなげます。
 - ◆ 経験、価値観、立場の異なる人の意見に耳を傾け、対話を通じて互いの視点への理解を深めます。
 - ◆ 異なる視点を組み合わせ、より良い判断、新たな発想、業務の改善やイノベーションにつなげます。
- 環境・社会課題の解決に取り組みます。
 - ◆ 自らの判断や行動を通じて、お客さまや社会のより良い未来の実現を目指します。
 - ◆ 取引先や事業パートナーとともに、事業活動と環境・社会の関わりを意識し行動します。

▶ サステナビリティ
方針は[こちら](#)



▶ 重要事項
(マテリアリティ)
は[こちら](#)



